

第二部：設計段階における不確実さの取り扱い

これまでの活動

建築分野及びそれ以外の分野、各国での信頼性設計現状調査。

ISO22111などの活動を通じて。

第二部では、各国での構造物に対する信頼性設計法の相互比較、他分野の動向紹介、また建築分野での設計レベルでの応用例の紹介を通じて、国内での信頼性設計の必要性、普及の可能性などを議論したい。

○西嶋一欽(京都大学防災研究所) 各国の構造設計における不確実さの取り扱い(荷重耐力係数の比較を通して)

○山崎賢二(竹中工務店) 地震と雪の荷重組み合わせについて—鋼構造大スパン建物の動的解析結果から—